

田無公民館

50～60歳代の女性へ

私流いきいきセカンドライフ

介護、そのときあなたは？

いつ来るとも知れない老親の介護が心配だし、もし自分や夫が倒れたらどうしたらいいの？ そんな不安を抱えたままでは楽しくなんか暮らせない。不安の元を見つけて出し、前向きに一歩踏み出してみよう。

- ▼とき別表のとおり 金曜日 14時～16時
▼ところ 田無公民館
▼対象 市内在住・在勤のおおね50歳～60歳代の女性
▼定員 20人(申込順)
▼申込 2月4日(金)10時から
電話で田無公民館へ



Table with 3 columns: 回 (No.), 月日 (Date), 内容 (Content), 講師 (Instructor). Rows include topics like '自己紹介・私の夢を語ろう' and '女性と介護'.

ひばりが丘公民館 ベーシックインカムを考える

ベーシックインカムは、国民全員に一律の現金を給付すること、最低限の生活を保障しようという制度です。この制度を切り口に、自由と公共、労働の意義などを考えます。

- 14時～16時
▼ところ びばりが丘公民館
▼対象 市内在住・在勤・在学者
▼定員 20人(申込多数の場合は抽選)
▼案内人 寺田俊郎(上智大学教員、カフェイコ会員)
▼申込 2月3日(木)10時から(電話は2月3日(木)10時から)
【メールでの申込】
①メールアドレスは1面参照
②件名「ベーシックインカム申込」
③本文「氏名・電話番号・住所」を明記してください。

谷戸公民館

文学講座 新しい「教科書文学」から読み解く現代社会

教科書文学を通じて、作品や作家について学び、そこから現代を生きる私たちの「生き方」について考えたいと思います。

- ▼とき別表のとおり 木曜日 14時～16時
▼ところ 谷戸公民館
▼対象 市内在住・在勤・在学者
▼定員 30人
▼講師 助川幸逸郎(横浜国立大学講師)
▼申込 往復はがきで2月7日(月)消印有効。応募多数

Table with 3 columns: 回 (No.), 月日 (Date), 内容 (Content). Rows include '幽霊はまだ現れるのか?' and 'ヤンキーの皮を被ったオタク'.

の場合は2月9日(水)16時から公民館事務室前にて公開抽選とします
往復はがき書き方
記入要領 往信面の裏面に①文学講座②郵便番号③住所④電話番号⑤氏名(ふりがな)返信面は申込人の郵便番号、住所、氏名(敬称記入)、裏面は白紙。はがきのあて先は〒188-0001 西東京市谷戸町1-17-2 谷戸公民館

柳沢公民館

集まれ！地域の市民力 福祉・環境・商工・自治会・保育・子ども の居場所をつなぐ

地域で抱えている課題・問題を、参加者同士で掘り起こし、その解決に向けて知恵を出し合い、語り合い、考え合う講座です。なお、本講座は1月22日から開講しています。各回参加も可能ですので、お気軽にご参加ください。

Table with 3 columns: 月日 (Date), 内容 (Content), 講師 (Instructor). Rows include '地域課題の解決策を探る' and '知っている高齢者福祉のあれこれ'.

★大豆びなと桜かざり展★

「一つ一つに思いをこめて」

谷戸町在住の飯島英夫さんの「大豆びなと桜かざり」です。大豆に顔を描き、紙の着物を着せたお雛様がたくさん並びます。「内裏びな作り講習会」もあります。



★書道作品展★

西東京市子ども書道教室



芝久保公民館で、小学生・中学生を対象に11名で活動しています。
▼とき 2月24日(木)～27日(日)
▼ところ 芝久保公民館

芝久保公民館



サークル訪問

ダブル Double Heart

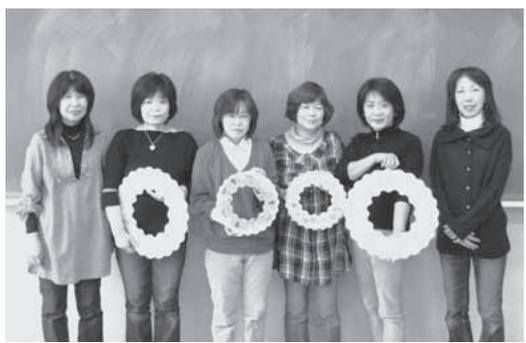
ダブルハート シールド(影)とハイライト(光)が織り成す芸術品

色鮮やかな一枚の木片。鳥や、草木が見事に描かれています。ツールペイントって、皆さんご存知ですか？谷戸公民館で活動している、Double Heartを訪問しました。



Double Heartは、平成5年、谷戸幼稚園の教養講座をきっかけに興味のある人が集まり活動をはじめました。サークル名は、「2人のハートを大事に」ということで決まりました。生活に密着した作品を中心に月2回行っています。

ツールペイントはアクリル絵の具を用いて木片に色付けをします。ペーシの色を塗る、下絵を描くなどいくつかの工程を経て完成させます。絵の具のみで木片に光と影を表現するのが特徴で奥深さが感じられます。訪問した日は、季節柄クリスマスリースに取り掛かっていました。作品作りには集中する一方、会員同士の和気あいあいとした雰囲気、アトリエ(学習室)を包



「一筆一筆が真剣勝負です」とみなさん楽しそうに語ってくれました。
スタート当初からの会員、始めてまだ半年の会員など、それぞれが作り出す見事な芸術品にしばしば見とれていたDouble Heartの訪問でした。
連絡先 勝田 464・4617